



とみすはら

No.55

平成29年3月1日 発行：富洲原地区社会福祉協議会 編集：ホームページ委員会



とみすはら 「富洲原」の名前の由来は・・・

明治22年に市町村制が実施されて、富田一色村、天ヶ須賀村、松原村が合併して、朝明郡富洲原村になりました。

富洲原とは、富田一色の富、天カ須賀の須、松原の原を一字ずつとって「富須原」と名付けたのですが、葦が多く生えている浜や沼が多かったという当時の地域の様子を後世に伝えるため、「須」が「洲」に変えられたといわれています。

富洲原地区 H29/2/1 現在

面積

2.04 km² (四日市市 24 地区内最小)

世帯数

3,777 世帯

人口

8,708 人 (男性 4,300 人・女性 4,408 人)

富洲原で多い名字

樋口さん・伊藤さん・鈴木さん

富洲原地区の旧町名

富田一色地区

旭町 港町 北町 七軒本町 中町 寺町
広小路町 新町 南町 堺町 八軒町
蛭子町 大黒町 布袋町 弁天町 江戸町
豊富町第一 豊富町第二 甚五兵衛町

天カ須賀地区

住吉町 港町 南町 本町 常盤町 寺町
中町 江戸町 岩戸町 北町第一
北町第二 北町第三 島崎町 富洲園
LM富洲原NC壺番館
LM富洲原NC式番館
LM富洲原NC参番館 GS富洲原

松原地区

茶ノ水町 西元町 東洋町 緑町 千歳町
錦町 新栄町 東平町 西平町 東八風町
西八風町 本松町 東松武町 西松武町
松ヶ枝町 松原サニーハイツ



富洲原漁港紹介

四日市市富洲原魚類協同販売所

四日市市漁業協同組合(富洲原支所)では週に2回魚市を行っています。黒鯛、カレイ、コチ、舌平目、芝エビ、渡り蟹、シャコなどがとれます。現在4隻(富士丸・七福丸・才勢丸・幸栄丸)の漁船で、その日に水揚げされた新鮮な魚をどなたでも買うことができます。天候により休みの場合がありますので1度電話でご確認下さい。木・日曜日 11時頃から(12月~3月まで休み) 連絡先:059-364-5796



四・九の市

松原地区のイオンモール四日市北店近辺で「四」と「九」が付く日に市が開かれています。

野菜や鮮魚、総菜、生花などの店が午前6時半頃からテントを立てて並んでいます。

新鮮なものが安く手に入ったり、対面販売で店の人との交流なども楽しめるので一度のぞいてみてください。



とみすはらでよく使う方言



◆おっちゃくい

おっちゃくいとか言ったりする。とても元気のいいこと、悪く言えば、いたずら好きな感じの人のことを「おっちゃくい人」といったりします。あと、「おっちゃくい運転する人やな~」などと言う感じで使うときもあります。「おうちゃくな」から来ています。

◆おうじょうこく

往生こく、ということで、死に際を見るほど、ひどい目にあつた、えらい目にあつたという感じの意味。言葉の普及率はけっこう高いが、使用率は低い。若い人の間では聞かない。「事故にあつて、おうじょうこいたわ」

◆ずつない・づつない

体などがだるい、もうなにもしたくない、または、おなかいっぱいなどといった感じのときに使う。「気づつない」から来たものか? 普及率は、結構高いが、使う人は少なく、若い人の間では使わない。「晩飯、食べ過ぎて、ずつないわ」

◆だだくさ

めんどくさいから来たのか、いいかげんにやったこと。「だだくさな絵を描いたな(いいかげんに絵を描いたな)」などと使う。これは、日常、誰でも使うのが多い。

◆ささって

ふつう、ささってというと、「明日・あさって・しあさって・ささって」と使う所が多いが、四日市では、「あした・あさって・ささって・しあさって」と使う。だから、標準語と四日市での「しあさって」は、一日ずれることとなるので、注意!

◆そんなもん、おまえ

ねえねえ、ちょっと聞いてくださいよ、といった合いの手の言葉。「そんなん、おまえ」とか、無意識に使う言葉で、別の地方の人から聞くと、びっくりするらしいので注意しましょう!



◆ごうがわく・ごがわく・ごうわく

はらがたつ、むかつくといった意味が入っているが、もうすこし、因縁こもってそうな言葉で怖い。「業が沸く」という、仏教用語(古語)から来たものか? 若い人も結構言うらしい。



◆おおられえ

「おやまあ」「ありゃー」って感じの感動詞です。この言葉は、お年寄りの女性が、よく言葉にする感動詞ですから、あまり、若者が、普段使う言葉ではありません。

◆つる

机をつると使う。机を持って移動する意味。掃除などするとき、机を後ろに移動させるが、その時に、「ちゃんとつりなさい」などと使う。ほかの地域の人は、つると言うので、魚つりを連想するらしい。

◆つんでいる・つんどる

混んでいるという事。道路が渋滞しているときなどに、道がつんどる、という。けっこう、誰もが発している言葉。

◆しゃびしゃび・しゃびんしゃびん

汁物などの食べ物で、何か、身が足りない感じ、うすいような感じのときに言う。「今日の味噌汁、しゃびしゃびやな~」

◆はお

「あほ(ばか!)」のこと。あほの[aho]の[h]が、前に付いて、[hao]になったのか? 四日市でも、北部の地区くらいでしか通じないが、その地区(富洲原・富田)では、有名な言葉である。「はおか、おまえ!」と使う。



◆とごる

沈殿する、の意味。理科の実験などで、砂糖がとごるなどというが、これも、ほかの地区は使わないと聞いて驚くほど 日常誰もが使う言葉。ちなみに、多度町では「とめる」というらしい。愛知県でも通じません。「こぞむ」という静岡県の地方もあるらしい。

富洲原地区の行事

4月	花まつり	富田一色
7月	石取祭り	松原
8月	けんか祭り	富田一色
	石取祭り	天カ須賀
10月	ガニ祭り	富田一色
	秋祭り	天カ須賀
	とみすはら大運動会 (29年度より三地区合同開催)	
11月	総合防災訓練	自主防災隊
1月	どんど焼き	各地区
	地区懇談会	人権教育推進協議会
2月	節分祭	富田一色

※これは、毎年恒例で行っているお祭りですが、日時や内容に変更がある場合があります。

富洲原地区社会福祉協議会の行事

5月	グラウンドゴルフ大会	保健体育部
7月	夏まつり in 富洲原	夏まつり実行委員会
8月	野外炊事とお泊まり会	青少年を守る会
9月	敬老会	福祉部
	福祉講演会	福祉部
10月	四日市市民スポーツフェスタ	保健体育部
	ふれあいウォークラリー大会	青少年部
	文化祭	文化部
11月	グラウンドゴルフ大会	保健体育部
12月	福祉年賀状	福祉部
	友愛訪問	福祉部
	歳末見舞	福祉部
3月	北部ブロック駅伝大会	保健体育部
	地区広報「とみすはら」発行	ホームページ委員会

昔の大黒屋さん

昭和の富洲原

シリーズ



松原地区の緑町にあった「大黒屋」さん。1枚1枚焼かれたたい焼きは、しっぽまであんこがいっぱいでした。夏はかき氷・ソフトクリームもあり、お好み焼や焼きそばもおいしかったです。また、およげたいやき君の歌が流行した時は、たいやきを買い求めるたくさんの人の列ができました。

富洲原地区社会福祉協議会 会長挨拶

富洲原地区の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は社会福祉協議会活動にご理解とご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

さて、本年度の事業・行事も地区の皆様のご協力により、滞りなく終わることができました。

来年度におきましても、本年度同様に福祉部・保健体育部・青少年部・文化部の4部会並びにその他関係団体のより一層の絆を深めて、地区の社会福祉活動に邁進してまいりますので、宜しくごお願い申し上げます。

坂本 寛

編集後記

28年度より地区広報「とみすはら」をホームページ委員会で編集することとなりました。

みなさんに楽しんでいただけた記事作りを行っていきたくと思います。

また、「富洲原地区ホームページ」も見てくださいね。